

ケーススタディ

1. 目的

「スライドを用いた講義場面におけるノートテイク」について、より良い方法を検討します。

2. 方法

- 1) 「スライドを用いた講義場面におけるノートテイク」を事例とし、模擬講義を実施します。
- 2) 模擬講義で起きた問題点や課題を聴覚障害学生やノートテイク者の立場から捉えます。
(「評価シート」を参照)
- 3) より質の高い情報保障をめざしてどのような方法や工夫等が考えられるのかについて、グループディスカッションで話し合います(以下の「ディスカッションの項目」参照)。

3. 役割分担

3名で1グループを構成し、各グループごとに以下の役を担います。

- 聴覚障害学生 1名
- ノートテイク者 2名

4. 場面設定

一般的な講義を想定。テーマは、「特別支援教育について」。

5. グループディスカッションで話し合う項目(※一例です)

- ①スライドとの関連が分かるようにノートテイクできたか?
- ②パートナーと適宜連携しながらノートテイクすることができたか?
- ③スライドを用いた講義において、よりよい情報保障環境を作るために必要なことは何か?